（報告様式1-2_公表用）Ver.1.0

研究成果展開事業　大学発新産業創出プログラム
大学・エコシステム推進型
拠点都市環境整備型

完了報告書

「イノベーションデザインプラットフォーム」

２０２２年　８月３１日

【総括責任者】
所属：東京工業大学
役職：理事・副学長（研究担当）
氏名：渡辺　治

【プログラム代表者】
所属：東京工業大学
役職：教授
氏名：辻本　将晴

プラットフォーム名	イノベーションデザイン・プラットフォーム（IdP）
総括責任者 （所属・役職・氏名）	東京工業大学・理事・副学長・渡辺　治
プログラム代表者 （所属・役職・氏名）	東京工業大学・環境・社会理工学院・イノベーション科学系・技術経営専門職学位課程・教授・辻本　将晴
共同機関責任者 （所属・役職・氏名）	慶應義塾大学・常任理事・天谷　雅行 東京医科歯科大学・統合イノベーション推進機構・副理事・ 　副学長・機構長・東條　有伸 東京大学・執行役・副学長・産学協創推進本部長・渡部　俊也
プログラム共同代表者 （所属・役職・氏名）	慶應義塾大学・医学部・教授　中村　雅也 東京医科歯科大学・副理事(産学官連携・オープンイノベーション担当) 　統合イノベーション推進機構・副機構長・教授・飯田　香緒里 東京大学・大学院工学系研究科・技術経営戦略学専攻・教授 　産学協創推進本部・副本部長・各務　茂夫
活動実施期間	2021年4月1日～2022年3月31日

Ⅰ．活動目的

イノベーションデザイン・プラットフォームは、コンソーシアム内の様々な外部協力機関や他のプラットフォームとともに、東京を中心とする地域におけるグローバルなスタートアップ・エコシステムの育成・醸成のために設立され、目指すビジョンとして、世界を変える大学発スタートアップを育てること、各大学の有するグッドプラクティスを連動・融合してベストプラクティスを開発し実践すること、参画機関によるスタートアップ時価総額総計 5 兆円を目指すことを掲げて各種活動を行った。

Ⅱ．活動の概要

イノベーションデザイン・プラットフォームでは、起業活動支援プログラムの一環として、IdP　GAPファンドプログラム、並びにCOMMIT及びSTARTUP　ACADEMIA等のマッチングイベントを実施した。また、起業家育成プログラムを運営する指導・支援人材を育成するために、対象者に対し専門家による講演会や実践的な講習会を開催する他、IdP GAPファンドプログラムの伴走支援に外部専門家とともに参加することで、チーム内での知識及び経験の移転を図った。さらに、東京工業大学、慶應義塾大学及び東京医科歯科大学の各拠点に起業活動を支援する拠点を整備するとともに、東京コンソーシアム内の他の拠点や日本各地の拠点とも連携して、プラットフォーム内外のエコシステムの形成を行った。

Ⅲ．活動内容と成果

1.スタートアップ・エコシステム拠点都市として目指すビジョンに対する貢献

「未来の東京」戦略ビジョンにおける「ビジョン14　スタートアップ」において「次々と新しい産業が生まれる、世界一のスタートアップ都市・東京」が掲げられている。2021年度事業において、起業活動支援プログラムの運営、起業家育成プログラムを運営する指導・支援人材の育成、起業環境の整備を着実に進め、新産業が生まれる仕組みづくりをIdP内で実施するとともに、東京コンソーシアム内でさらにプラットフォームを拡充し、拠点都市内を網羅するプラットフォームGTIE（Grater Tokyo Innovation Ecosystem）の構築に至った。

2.起業活動支援プログラムの運営

２－１．構築した枠組みの成果

研究と事業化の間に存在するGAP（空白・切れ目）を埋めるため、研究開発費支援、伴走支援、マッチング・ネットワーキング支援を行った。シーズ発掘及び選考（書面・面接）は専門家集団のSDC（Search and Development Committee)等により実施し、ハンズオン支援はSDCメンターによるメンタリングと指導・支援人材等（事業化ファシリテーター）の伴走により実施した。GAPファンド支援終了後は、本事業で形成されるコミュニティ及びGTIEを活用し、起業やSTART等次のステージの起業支援事業に結びつくようさらなる支援を指導・支援人材等により推進する。

２－２. 研究開発課題の実績

・応募課題数、採択課題数　　単位：件

応募数	一次審査通過数	二次審査通過数	採択数
26	26	17	17

・知的財産権（出願数、登録数）

出願件数　：　国内2件、　海外0件　、登録件数　：　国内0件、　海外0件

・採択した研究開発課題の今後の事業開発の展開　　単位：件

A. STARTプロジェクト推進型2022年度起業実証支援に応募済み、もしくは2023年度以降起業実証支援に応募予定	6
B-1. 自力で起業した、もしくは起業の目途が立っている	1
B-2. 自力で起業に向けた活動を行っている、もしくは今後行う予定	4
C. 起業実証支援以外の他の事業化支援のプログラムへの応募済み、もしくは応募予定	2
D. 企業等への技術移転や共同研究に向けた活動を行っている、もしくは今後行う予定	3

3.起業家育成プログラムを運営する指導・支援人材の育成等

３－１. 構築した枠組みの成果

対象者9名に対し、イノベーションデザイン・スクールを通じ、起業関連の講義及び関係のある海外大学等の起業関連プログラム等を提供するとともに、SDCメンターとGAPファンドの伴走支援をすることによって起業家育成プログラムを運営する指導・支援人材の育成を行った。対象者は、今後自らがメンターとなり起業を予定している教員・学生の支援を実施することや自らが講義を実施する等により新たな指導・支援人材を育成することに向け活動していく。

３－２. 指導・支援人材の育成人数計画と実績

計画：9　人、　　実績：9人

4.起業環境の整備における構築した枠組みの成果

起業支援及びネットワークの拠点として、東工大田町キャンパスにId Hubを、慶應義塾大及び東京医科歯科大にId Labを整備した。今後これらの拠点を連携させながらスタートアップ支援を展開する。

5.プラットフォーム内外のエコシステムの形成における構築した枠組み（全体像）、連携等の仕組み

スタートアップ・エコシステム拠点都市であるスタートアップエコシステム・東京コンソーシアムのビジョンの実現に向け、プラットフォーム内外の専門家で構成されるSDC（Search and Development Committee)を設置し、専門的知見を融合させるべく活動を行った。

プラットフォームを拡充し、拠点都市内を網羅するプラットフォームGrater Tokyo Innovation Ecosystem（GTIE）の構築に至った。